宿泊旅行調査2014　じゃらんリサーチセンター調べ

実施率は57.5%、前年上回る

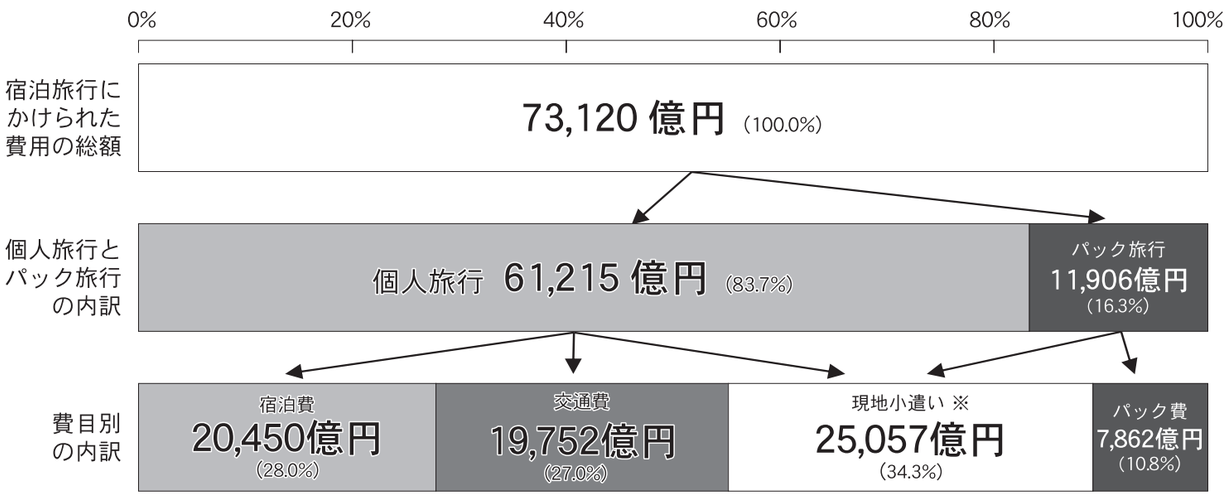
費用総額は、3年ぶり7兆円超え

じゃらんリサーチセンターが7月25日に発表した「じゃらん宿泊旅行調査2014」によると、2013年度の1年間に国内の宿泊旅行を行った人の割合は57・5%で2年ぶりに増加した。前年度比は1・7ポイント増加。性・年代別では20～34歳男性層が1・5ポイント低下した以外はすべての層で実施率が増加した。延べ宿泊旅行者数は、前年度比7・5%増の1億5599万人回。1回あたりの平均宿泊数は微減の1・6泊だった。その結果、延べ宿泊数は前年度比6・5%増の2億4972万人泊と大幅に増加した。

国内の宿泊旅行にかけられた費用総額は7兆3120億円で、前年度比5・5%増加した。2年連続で回復し、3年ぶりに7兆円を超えた。大人1人あたり1回の宿泊旅行にかかった費用は4万6800円で前年度より800円減少した。現地小遣いで千円減少。現地小遣いの平均単価は、大人1人あたり、買い物5830円、夕食2980円、昼食1480円、飲酒4190円、立ち寄り温泉920円だった。

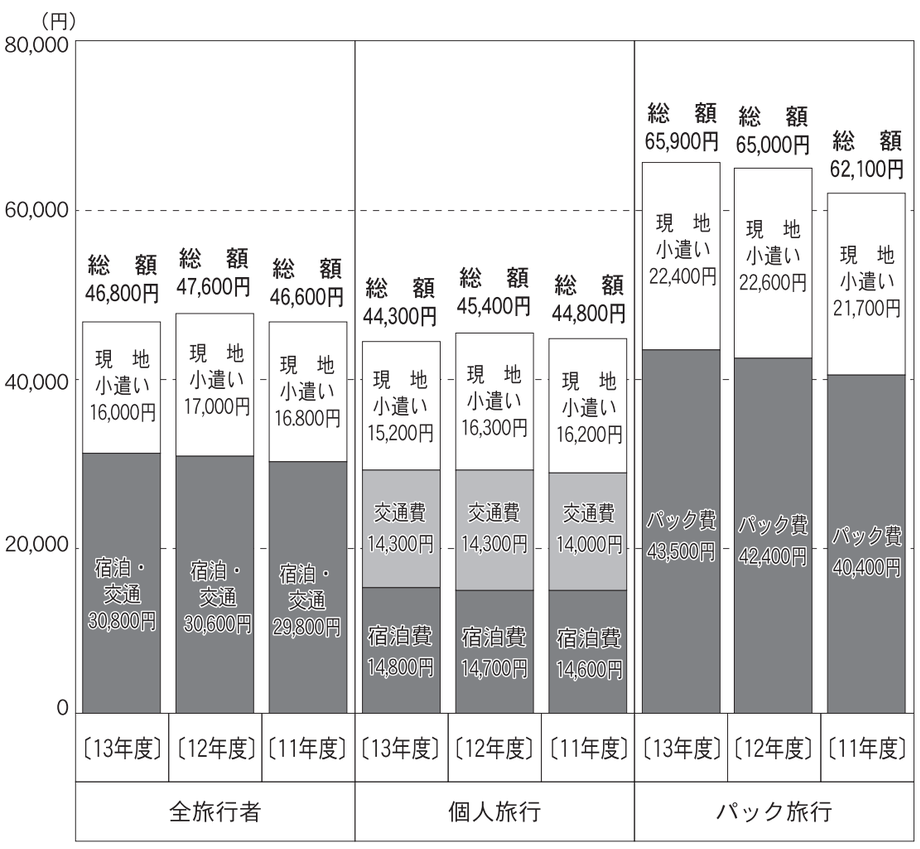
宿泊旅行の同行形態で最も割合が高いのは「夫婦二人での旅行」で24・8%だった。「一人旅」は調査開始以来9年連続で増加。特に20～34歳男性は、調査開始時点から11・2ポイント上昇した。

宿泊旅行にかけられた費用総額（推計値）

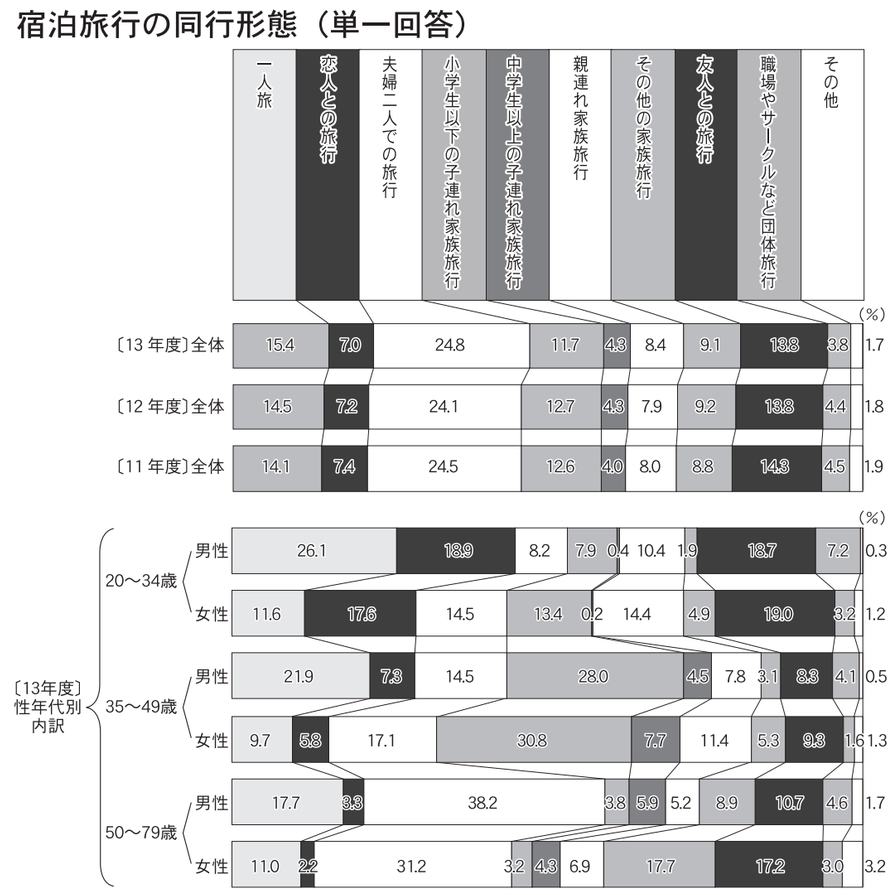


※現地小遣い・・・旅行先での飲食、買い物、遊興費、目的エリア内での移動費用を含む

1回の宿泊旅行にかかった費用（大人1人あたり）



宿泊旅行の同行形態（単一回答）



都道府県別の延べ宿泊旅行者数（推計値）

2013年度　推計値		順位変動	2012年度　推計値	2011年度　推計値
全　国	15,599万人		14,505万人	14,686万人
1位　東　京　都	1,720万人	←	（1位　1,659万人）	（1位　1,453万人）
2位　北　海　道	1,027万人	←	（2位　1,025万人）	（2位　944万人）
3位　神奈川県	832万人	↑	（4位　766万人）	（5位　781万人）
4位　静　岡　県	831万人	↑	（5位　715万人）	（3位　787万人）
5位　長　野　県	773万人	↓	（3位　785万人）	（4位　786万人）
6位　大　阪　府	769万人	←	（6位　706万人）	（7位　679万人）
7位　京　都　府	691万人	←	（7位　656万人）	（6位　690万人）
8位　千　葉　県	662万人	←	（8位　573万人）	（8位　572万人）
9位　兵　庫　県	567万人	←	（9位　474万人）	（9位　525万人）
10位　福　岡　県	499万人	↓	（9位　474万人）	（10位　457万人）

都道府県別の延べ宿泊旅行者増加率・増加数（2013年度－2012年度推計値）

2013年度←12年度	増減率	増加数
1位　島　根　県	56.1%	67万人
2位　福　島　県	31.0%	79万人
3位　茨　城　県	27.2%	27万人
4位　宮　崎　県	25.8%	28万人
5位　岡　山　県	21.7%	37万人
6位　兵　庫　県	19.6%	93万人
7位　愛　知　県	18.0%	68万人
8位　静　岡　県	16.2%	116万人
9位　千　葉　県	15.4%	88万人
10位　沖　縄　県	15.2%	65万人
10位　三　重　県	15.2%	54万人

テーマ別・都道府県魅力度ランキング

▶ 地元ならではのおいしい食べ物が多かった	1位	高知県	2位	広島県	3位	北海道、香川県
▶ 魅力のある特産品や土産物が多かった	1位	沖縄県	2位	京都府	3位	北海道
▶ 魅力的な宿泊施設が多かった	1位	大分県	2位	沖縄県	3位	熊本県
▶ 地元の人のホスピタリティを感じた	1位	沖縄県	2位	青森県	3位	鹿児島県
▶ 子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	和歌山県
▶ 若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	大阪府
▶ 大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	京都府	3位	沖縄県
▶ 現地で良い観光情報を入手できた	1位	沖縄県	2位	京都府	3位	青森県